



ヤングコーナー

# 冬のオススメ本紹介



## YA担当より

寒い季節がやってきましたね。こんな寒い日には、お家でまったりと読書をしながらか過すのもいいですね。ヤングコーナーには他にもさまざまな分野を取りそろえているので、ぜひ手にとってみてくださいね。

### ① 「ヨーレのクマー」

宮部 みゆき／作  
佐竹 美保／絵  
KADOKAWA  
YA書架 E ㍲



クマーは、ヨーレという街を守っているかいじゅうです。ヨーレには、夜になると悪いかいじゅうたちがやってきますが、クマーが追っ払っています。クマーはかいじゅうですが、透明であったため人々に知られることはありませんでした。ところが、悪いかいじゅうを追っ払った時に、大切な角が折れて、姿が見えるようになってしまいます。クマーのせつなく悲しい物語です。  
見えるものと見えないもの、何が大切なのか。考えさせられる一冊です。



### ② 「マンボウは上を向いて ねむるのか」

澤井 悦郎／著  
ポプラ社  
YA書架 487㍲



皆さんは、マンボウが世界に何種類いるのか知っていますか？  
この本は「マンボウ博士」こと澤井悦郎さわいえつろうさんが水族館を舞台にマンボウの本当の姿を追い求めます。  
マンボウの飼育では、驚きの工夫もされていました。  
まだまだ分からないことが多いマンボウの生態が、研究によって仮説ですがわかることもあって、いつかその仮説が定説になる時がくるのだろうかワクワクします。  
マンボウへの愛情と情熱を感じられる一冊です。



### ③ 「マーゴットのお城 ある著名な建築家の最初の 仕事のおはなし」

桜咲 ゆかこ／文  
黒田 征太郎／絵  
今人舎  
YA書架 913㍲



父親からヴァイオリンの手ほどきを受けた少年は、幼くしてはやり病で両親を亡くします。あてもなく町から町へと流れながら、ヴァイオリンを弾いて得たわずかなお金で命をつないでいました。その傍らには不思議な力で命を得た人形のマーゴット。ある町にたどり着いたとき、町に立ち並ぶ建物に温かさを感じ、こんな家を建てられる建築家になりたいと心に誓い、この町の建築家の弟子になります。……。いつも前を向くことを忘れない少年と、寄り添い励ます人形のマーゴット。  
優しい人たちに囲まれて成長する少年の物語。



### ④ 「ロイヤルシアターの 幽霊たち」

ジェラルティン・マコックラン／著  
金原 瑞人／訳  
吉原 菜穂／訳  
小学館  
YA書架 933マ



イングランドの海辺の街にある劇場「ロイヤルシアター」は、数年前に閉鎖されてから、幽霊たちの避難所となっていました。様々な時代を生きてきた幽霊たちは、時代の変化から目を背け、外の世界に怯え、薄暗いロイヤルシアターに引きこもっていたのです。  
ある日、ロイヤルシアターを建て直すために一組の家族がやってきます。娘の 그레이シーはなんと幽霊を見ることができ、幽霊の過去を聞き出し、外へと連れ出します。幽霊たちはしだいに心を開いていきますが、 그레이シーには自分でも気づいていない秘密があって…。  
愉快だけれど、時に切ない、極上のエンターテインメント作品です。



YAとは…ヤングアダルトの略で、「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。

